

あらかわ産業ナビ

「あらかわ産業ナビ」は荒川区産業経済部が年間6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行する産業情報紙です。区内事業者や団体等を対象に7,000部を配布しています。

能田電気工業株式会社【MACCプロジェクト参加企業】

事業承継を重ね挑戦を続ける 人と技術を育み100年企業へ

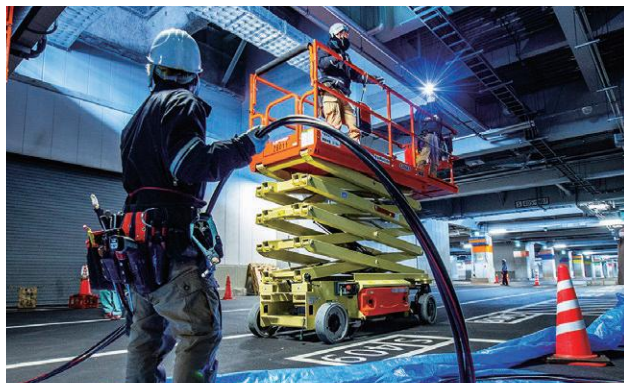
創業から四代、常に挑戦の明かりを灯し続ける

能田電気工業は昭和6年(1931年)創業の老舗企業。現在は四代目の井上有子さんが代表取締役社長を務めます。精米機、家電などを販売する企業として始まり、昭和37年に二代目が業態を変え法人化し現在の電気工事会社となりました。事業承継を重ねながら歩んできた企業です。

主たる事業は、屋内外にある配線工事や電気設備などの改修工事及びメンテナンスです。二代目のときに池袋のサンシャインシティの指定業者の一つとなり、竣工直後から40年以上も電気設備のメンテナンスで関わり続けています。三代目のときに、会社の信用度を高めるため宮内庁との取引を始めたほか、ホームページの開設や会社ロゴの一新といった、ブランディング戦略も精力的に推進し、現在の能田電気工業のベースが整いました。井上さんは今後について「脱炭素化やSDGsの実現を目指す時代の中で、太陽光設備の設置やメンテナンス業務についても検討しています。同時にシニアや女性の活用も考えていきたいですね」と抱負を語ってくれました。



代表取締役社長 井上有子さん



電線の塊は相当に重たく、夜間作業もあるほか、決められた期間内に作業を終えねばならないなど、決して甘い職場ではありません。しかし、「工事によって便利になったり、新しくなった状況に喜ぶお客様の笑顔を見られたときには、疲れが吹き飛びます」と社員の方は言います。

受け継がれるスローガン “サービス業として生きる”

社員の名刺にも印刷されている「建設業として生まれ、サービス業として生きる」は、三代目の考えた社訓。電球にも、ひらがなの「の」にも見えるロゴは、三代目の娘さんの発案がベースです。



社員一人ひとりが「いきいきと働ける」環境作り

井上さんは結婚後は主婦として生活していましたが、三代目が大病を患ってから家業を手伝うようになり、平成29年に社長を引き継ぎました。区のMACCプロジェクトのサンアス会(女性承継塾)にも参加し会社経営に活かしています。

社長業について尋ねると、「私の仕事は現場の社員がいきいきと働ける環境を作ることです。そのためにはコミュニケーションが欠かせません」と言います。コロナ禍でも意思疎通が図れるようにデジタル化を進め、その一環としてタブレットを区の補助金を利用して導入。現場とのオンライン朝礼やちょっとした連絡などで日々活用しています。

社員からの提案にも柔軟に対応し、新しいことにも取り組む、井上さんの次なる挑戦が楽しみです。



区の補助金を利用してタブレットを導入



現場とはオンライン朝礼を行っています

【Profile】井上有子(いのうえ・ゆうこ) 能田電気工業株式会社 代表取締役。荒川区出身。平成29年に代表取締役社長に就任。MACC プロジェクトに参加。

【問合せ】能田電気工業株式会社 [Tel] 03-3806-1161

【住所】荒川区南千住5-25-9 [公式サイト] <https://no-da.co.jp>



若手社員に聞きました

現場のサポートが私の仕事です

昨年入社した筑摩さん。人を大切にする社風と社会に役立つ電気工事の仕事に関わりたくて入社を決めたそうです。入社後は現場を始め積算業務や調整業務など幅広く経験。井上社長は「筑摩さんは前職がサービス業なので現場と外部との橋渡しがとても上手」と太鼓判を押します。本人も「現場で自分が動くより現場の技術者が作業しやすい環境を作ることの方が向いているようです」と話します。入社後、第二種電気工事士の資格を取得した筑摩さんは「資格取得後、関係者との会話がよりスムーズになりました。今後も状況に応じて各種資格の取得を目指します」と意気込みを笑顔で語ってくれました。



筑摩香織さん

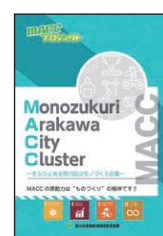
子ども向け電気工作教室を開催



昨年11月に地域貢献活動の一環として、小学生向けの電気工作教室を開催しました。電気配線やスイッチの仕組み、普段見たことのないコンセントの内側の様子などに子ども達は興味津々。それに接した社員達のモチベーションも上がり期待以上の成果を得ました。今後も継続予定です。

MACCプロジェクトのご紹介

「MACC(まっく)プロジェクト」は、区内の企業を支援するプロジェクトです。中小企業の新事業展開に欠かせない、大学・高専や各種支援機関との連携関係を構築しています。コーディネーターを配置し「かかりつけ医」のように経営相談から販路開拓といった課題までワンストップで対応する企業支援を行っています。



令和4年1月31日刊行
「MACC新冊子」

MACC会員募集中! 詳細は下記まで!

【問合せ】経営支援課産業活性化係

[Tel] 03-3802-4683

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/jigyousha/macc/index.html>



令和4年度の主な産業振興施策 荒川区産業振興施策紹介

時流の変化に挑戦する中小企業をサポート！

区の令和4年度予算のうち、「産業革新都市」の実現に向けた施策の予算額は25億6,800万円です。新年度の主な産業振興施策の概要と予算は下記のとおりです。今後も、新たな時代のニーズに的確に対応しながら地域経済の持続的な発展につなげてまいります。

※各種補助金には要件があります。詳細はお問い合わせください。

1 事業・業態転換にともなう 設備投資等の支援【新規】—《2,348万円》

新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済構造の変化を受け、事業転換や業態転換を行うなど、区内企業が新たなビジネスモデルを創出する取り組みに対して、設備投資やマーケティングに係る経費の一部を助成します(補助率1/2・上限額100万円)。



【問合せ】製造業・建設業・運輸業⇒経営支援課経営支援係 [Tel] 03-3802-4808
商業・サービス業・卸売業⇒産業振興課商業振興係 [Tel] 03-3802-4674

2 SDGsに関する新製品開発や 事業展開の支援【新規】—《530万円》

国連が掲げる持続可能な開発目標である「SDGs」の拡がりを受け、新たな時代のニーズを取り込んだ新製品開発などに対して、経費の一部を助成します(補助率2/3・上限額250万円)。また、啓発セミナーを通じてSDGsを活用した事業経営の推進を支援します。



【問合せ】経営支援課経営支援係 [Tel] 03-3802-4808

3 企業価値の向上を図る取組や 設備投資等の支援 —《5,545万円》

生産性の向上や企業価値の向上につながる設備投資やICTツールの導入、また、社員が活躍できる環境整備を行う区内企業に対して、経費の一部を助成します(補助率1/4【一般】、1/3【特例】・上限額100万円【一般】、300万円【特例】)。また、中小企業診断士など外部専門家の助言により、企業価値の向上を支援します。
※申請者が小規模企業者の場合は、一般申請の補助率は1/3となります。

【問合せ】経営支援課経営支援係 [Tel] 03-3802-4808

4 商業・サービス事業者の 活力創出に向けた取組の支援—《3,447万円》

社会経済構造や市場環境の変化に対応するための設備や備品の整備、ITツールの導入などを行う区内の商業・サービス事業者に対して、経費の一部を助成します(補助率1/4・上限額100万円)。中小企業診断士による助言を併せて行い、地域産業の活力創出を支援します。



【問合せ】産業振興課商業振興係 [Tel] 03-3802-4674

5 商業・サービス事業者訪問による 課題解決・デジタル化支援【新規・充実】 —《1,474万円》

区内の商業・サービス事業者を中小企業診断士が訪問し、聞き取り内容に応じて区や関係機関に繋ぐほか、専門家の視点で経営課題の解決を支援します。併せて、デジタルの導入・活用に関する助言を行い、デジタル化をプッシュ型で支援します。(ECサイトの構築、キャッシュレス化、クラウドサービス導入、電子クーポンの導入、サイバーセキュリティ強化の相談等)

【問合せ】産業振興課商業振興係 [Tel] 03-3802-4674

6 ふらっとにっぽりを活用した 地域産業活性化【新規・充実】—《1,976万円》

施設の特徴である大階段等を活用し、ファッションデザインコンテストなどの地域連携イベントを開催するほか、創業支援施設「イデタチ東京」を卒業した事業者が区内で拠点を構える場合の賃料補助制度(補助限度額：5万円(月額)・最長3年間)を開始するなど、施設を活用した更なる地域産業活性化を図ります。



【問合せ】産業振興課管理係 [Tel] 03-3802-4672
経営支援課産業活性化係 [Tel] 03-3802-4807

荒川区・山形大学 協力事業 認定事業報告

金融機関向け講習会の修了者を 「荒川区地域産業活性化パートナー」に認定

区では山形大学の協力のもと、昨年10月から1月まで、金融機関職員向けの講習会を開催しました。

今年度のテーマは「『経営デザインシート』を活用した企業の事業再構築」。荒川区しんきん協議会に加盟する、朝日信用金庫、東鴨信用金庫、東京東信用金庫から参加した14人の職員が、山形大学大学院教授の小野浩幸氏をはじめとする講師陣の指導のもと、経営者へのヒアリングや調査分析等を通じて、戦略的なビジネスプランの提案スキル習得に励みました。

最終日の1月20日には、後援機関や参加金融機関の関係者など大勢が見学する中、オンラインでのプレゼン

テーションコンテストが開催され、小野教授からは、「例年に比べ難易度が高い講習を、最後まで熱い思いを持って顧客と対峙し、やり抜いた」と、受講生を高く評価する総評がありました。

本講習会は、山形大学の協力により平成28年度から実施している事業で、今回が6回目となります。区内企業の事業性を正しく評価できる人材を育成し「荒川区地域産業活性化パートナー」として認定。パートナーの周知や活躍を通して、区内中小企業の成長発展を後押しするのが狙いです。今回の修了者が加わり、区が認定したパートナーは総勢118人になりました。

問合せ 経営支援課産業活性化係 [Tel] 03-3802-4807



対面での講習会の様子



Zoomでの講習会の様子

民法改正

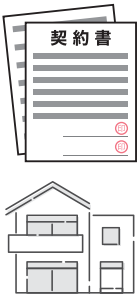
「成年年齢」が変わります！！
～令和4年4月1日以降、「18歳」は成年です～

民法の改正に伴い、4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられます。これにより、18歳～19歳の若者も「成年」となり、法律上は大人として扱われることになります。

成年になるとどう変わる？

「成年」になると、保護者の同意を得なくても、自分一人でも効な契約ができるようになります。法的な自由が認められると同時に、社会的責任が求められるようになります。

「未成年者」は、契約する時は必ず保護者の同意が必要となっており、保護者の同意を得ずに結んだ契約は、原則、取り消すことができます。しかし、成年になると、一方的には契約を取り消すことはできません。「契約」を安易に考えず、正しい知識を持つことが必要です。



18歳からできるようになること

- クレジットカードを作る
- 携帯電話を契約する
- アパートの賃貸契約
- ローンで車を購入する など



20歳にならないとできないこと

(これまでどおり)

- 飲酒・喫煙
- 競馬や競輪等の公営ギャンブル など



◎困った時は、消費生活センターへ

一人で抱え込まず、心配なことがあればご相談ください。

相談受付時間：月～金曜日(祝日等は除く) 8:30～16:30

相談専用電話：03-5604-7055

問合せ

荒川区消費生活センター [Tel] 03-3802-4673

注意喚起

「無料」サイトへの求人掲載、
トラブル急増中！契約は慎重に！



最近、無料をうたう「求人サイト」でのトラブルが相次いでいます。無料のつもりでサインした契約書の目立たない場所に、小さく有料期間への自動移行について記載されており、後日十数万～数十万円もの広告料金を請求された例も実際に報告されています。事業者間の取引にはクーリング・オフは適用されません。甘い言葉につられて安易に契約する前に、契約内容の書面での確認や周囲の人への相談を行い、慎重に判断しましょう。



こんなチラシが
DMやFAXで来る事も

荒川区では、中小企業の人材確保(募集・採用・定着)を支援しています

専門員が企業を個別訪問し、求人票作成のアドバイスをはじめとした区内中小企業の人材確保のお手伝いをします。お気軽にご相談ください。

問合せ

就労支援課 [Tel] 03-3800-8710

法律改正

育児や介護、「パワハラ」への対応など
働きやすい職場への対策が義務となります

従業員の育児や介護への対応が、令和4年4月以降、段階的に必要となります。また、ハラスメント対策は、令和4年4月から中小企業も義務化されます。

■ 育児や介護等への対応について

主な内容	●制度の周知や、取得についての意向確認(男女問わず) ●1歳までに育児休業を2回に分けて取ることが可能に など
詳細	厚生労働省「育児・介護休業法について」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/jigyoyouritsuryouritu.html

■ ハラスメント防止対策について

主な内容	●事業主としての方針等の明確化と、その周知・啓発 ●相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備 など
詳細	厚生労働省「職場におけるハラスメント防止のために」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/seisaku06/index.html

受講企業募集

「事業化チャレンジ道場」受講企業募集！
～新製品開発で新規事業を立ち上げる！～

新製品の開発や新規事業立ち上げに関する一連のプロセスを修得し、新たな自社ビジョンの実現に挑戦する企業をサポートする事業化支援プログラムです。

※ソフトウェアやビジネスモデルのみの開発等を支援するものではありません



対象企業	都内で実質的に事業を行う中小企業
参加人数	1社3人まで
実施場所	公益財団法人東京都中小企業振興公社 ①城南支社：大田区南蒲田1-20-20 または、 ②多摩支社：昭島市東町3-6-1 ※選考の上、企業ごとに公社が上記のいずれかの支社を指定します
費用	1社7万円(税込)
応募締切	4月中旬(予定)※選考の上、決定します
問合せ	公益財団法人東京都中小企業振興公社 城南支社 経営支援担当 [Tel] 03-3733-6284 [e-mail] dojyo@tokyo-kosha.or.jp https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/seminar/dojo.html 事業化チャレンジ道場 <input type="submit" value="検索"/>

助成金制度

省エネルギー設備導入のための
エコ助成金交付制度



区内の事業所が「事業所向け省エネ診断」に基づいて省エネルギー空調機器やLED照明などの設備を導入する場合に、費用の一部を助成します。ぜひご活用ください。

助成金額	設置費用の1/2。限度額30万円(区内事業者施工の場合35万円)
申請期間	4月上旬から令和5年2月中旬まで
注意事項	※申請前に「事業所向け省エネ診断」を受けることが必要です ※設備設置の施工前に、助成金交付申請書をご提出いただく必要があります ※助成対象となる設備等に対し、区から他の助成金を受けている場合は申請できません 詳しくは荒川区ホームページ「令和4年度エコ助成金交付制度」をご確認ください
問合せ	環境課環境推進係 [Tel] 03-3802-4693、03-3802-4694

■ 事業所向け省エネ診断とは・・・

技術専門員が事業所にお伺いし、エネルギーの使用状況を診断し、光熱水費削減のための省エネに関する提案や技術的な助言を行います。診断費用は無料です。



問合せ

東京都地球温暖化防止活動センター(愛称：クール・ネット東京)
[Tel] 03-5990-5087 <https://www.tokyo-co2down.jp/>

光熱水費を負担に感じていませんか？

**東京都の省エネルギー診断で
光熱水費の10%以上削減!!**

経験豊富な診断員があなたの事業所に訪問し、最適な省エネ対策をご提案！

受診者アンケートの結果 (平成20年～令和元年度)
※有効回答数：1,262件

1. 省エネルギー診断を受診して、効果がありましたか？

■その他
■わからない

80%の事業者が効果を実感

80%の事業者が効果を実感

2. 省エネルギー診断を受診後、どのくらいエネルギー使用量が下がりましたか？

電気 平均16.0%削減
ガス 平均23.9%削減
水道 平均16.1%削減

提案実績 ※診断実績：約4,600件

年平均
削減
光熱水費
約177万円※
※提案への実績

年商1億円、営業利益500万円の会社の場合
光熱水費50万円の削減は、
1,000万円の売上増に
相当します！

省エネは
お得!

お問い合わせはこちら
03-5990-5087 | 東京都地球温暖化防止活動推進センター
(クール・ネット東京)

プロの一途

モノづくりの現場から

このコーナーは区内のモノづくりの現場を訪ね、プロのモノづくりへの一途などわかりや思いを伺うコーナーです。今回は「東京TASKものづくりアワード2021」で奨励賞を受賞された企業を訪ねました。

東京TASKのご紹介

東京TASKは、台東区・荒川区・足立区・葛飾区が4区合同で、ものづくり企業の新しい挑戦を支援するプロジェクトです。東京TASKものづくりアワードを毎年開催しています。



1月19日表彰式の様子



代表取締役社長 渡邊 浩一さん

専務取締役 渡邊 彰子さん

【渡邊製本株式会社】

国内外から様々な注文が来る「世界に誇る町工場」

機械加工と手加工の融合で製本業者の強みを生かす商品作り

渡邊製本は昭和21年(1946年)創業の製本会社です。印刷した紙を綴じて表紙を付け、書籍として完成させる作業を「製本」と言います。上製本(ハードカバー製本)と並製本(ソフトカバー製本など)を自社内で製作できる区内唯一の製本会社であり、機械加工と手加工のハイブリッドによる特殊書籍製本を得意としています。「図録や写真集のような大判や変わった形状の製本もよく手掛けます」と語るのは、三代目社長・渡邊浩一さんです。

平成23年に新規顧客開拓のため自社サイトを開設。サイトを見たアメリカの企業から、オールメイド・イン・ジャパンの高品質ノートの製作依頼が来ました。オーダーに対応していく中で蓄積したノウハウを基に、「BOOK NOTE」などのオリジナル商品を開発。高い品質から雑誌でも紹介され、大手文具店を始め国内外から様々な注文が来ています。



ハードカバー本の表紙をノリ付けする様子。1 はけでノリを塗り、2 プレス機で表紙と中身(本体)を圧着します。

「東京TASKものづくりアワード2021」奨励賞受賞

学んだことを製品化 作品を綺麗に残せるポケット

彰子さんが新製品開発目的で通った「製品開発道場」で学んだ知識を基に、知人の「孫の工作を綺麗に残したい」という言葉から開発したのが「えぼっけ」です。娘さんの河合枝里子さんと約3年がかりで開発。何度も試作を繰り返し完成させ、見事奨励賞を受賞しました。

えぼっけ



収納ポケットには透明フィルムがあり、作品を綺麗に収納できます。ゴムバンドで綴じて作品集にしたり、外して単体で飾ることもでき、思い出を大切に残せます。



BOOK NOTE



↑ カスタムカット例

CROSSFIELD



万年筆に最適なノート



奨励賞受賞の「えぼっけ」、フラットに広げられて書き心地の良い「BOOK NOTE」、万年筆に最適な「CROSSFIELD」などの独自商品は高い品質を誇ります。自社の販売サイトでは「BOOK NOTE」のカスタムカットに対応。製本業者ならではのサービスです。
【公式サイト】<http://www.watanabeseihon.com>

【問合せ】渡邊製本株式会社 [Tel] 03-3802-8381 [住所] 荒川区東日暮里3-4-2



トートバッグ



愛用のミシンで製作をする田部井さん。ユーザーの反応やリクエストで改良すること。トートバッグは人気の商品です。

【ジュイ工房】

丈夫な帆布で作った「使いやすい」に拘った服やバッグ デザイン、裁断・縫製から販売まで 全てを一人でこなすプロの裁縫師

ジュイ工房は、帆船の帆に使われる厚手で丈夫な布「帆布」を用いた手作り服飾工房です。ジュイはフランス語で楽しいや遊ぶという意味。田部井さんは家業の縫製業を手伝う傍ら服飾学校でパターンを学び、アパレル会社で生産管理などを行いました。縫製業38年の経験に基づき「自分で考えたモノをデザインから販売まで、全てを一人で行い皆さんにお届けしたい」という思いから、デニム素材で商品を作り販売会などで自分で売り始めました。最初は売れませんでした。素材を帆布に変更したところ大好評。帆布生地を使ったバッグ類やエプロンなどを次々と生産。「飽きることが一番の敵」と話す田部井さんは「販売会での対人販売は刺激があり、来場者と直接やり取りする話しのうちに新しい発見があるので飽きません」と話します。全てを一人でやるからこそ分かる喜びがそこにあるようです。



運営責任者 田部井 弘行 さん



公式サイト



商品はバッグ類やエプロン、ジャケットなどがあります。リュックは雨カバー入れを設けるなど細部まで工夫。エプロンは平成30年度の第13回の奨励賞受賞作品。真ん中にスリットを付け、両足にバックルで留められるのでズボンのように足さばきが楽です。
【公式サイト】<https://denim-koubou.com>

【問合せ】ジュイ工房 [Tel] 03-3892-7480 [住所] 荒川区荒川6-55-6

「東京TASKものづくりアワード2021」奨励賞受賞

自分の現在位置を知るため 人気の帆布製ジャケットで応募

コロナ禍で対面販売イベントが減りお客様の反応を直接知ることができなくなりました。自分の製品の評価を知りたいと思い今回応募。奨励賞を受賞し審査員の評価も知ることができました。既に製品はバージョンアップし、人気商品のラインアップ入りしています。

フード付きジャケット



帆布製でアウトドアでの焚き火の際に、火の粉が飛んでも大丈夫。スマホはポケット内の内ポケットに収納でき、木槌なども腰に固定できます。

【発行】荒川区産業経済部
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
[Tel] 03-3802-4672 [Fax] 03-3803-2333
[e-mail] sangyo@city.arakawa.tokyo.jp

【荒川区ホームページ】
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>
あらかわ産業ナビ
で検索が二次元コード→



スマホやタブレットなどのカメラ機能やアプリを使って読み取ってください。

